

# ナールスゲンの安全性

- 1) 「化粧品の安全性評価に関する指針」  
(日本化粧品工業連合会)に基づく9項目

**毒性、刺激性、副作用等は認められず**

- 2) ヒトモニター実験(3ヶ月間、3回)

**肌荒れや健康トラブル等認められず**

化粧品安全性評価に関する指針（日本化粧品工業連合会）にもとづく安全性試験結果

試験項目	方法	結果	
単回経口試験	ラット、2,000 mg/kg	投与後1日に全例で粘液便が観察。投与後2日から異常なし。	(-)
皮膚刺激性試験	ウサギ、2% 被験液塗布	投与後72時間において、全例で、紅斑、浮腫等の皮膚刺激性は認められず。	(-)
連続皮膚刺激性試験	ウサギ、2% 被験液 2週間連続	観察期間を通して紅斑、浮腫等の皮膚刺激性は認められず。	(-)
眼刺激性試験	ウサギ、2% 被験液	投与後1、24、48、72、96 hrにおいて、全例で、角膜、紅彩および結膜等の眼刺激性は認められず。	(-)
皮膚感作性試験	モルモット、Maximization法、2% 被験液、初回感作ののち、閉塞貼付による再感作	閉塞パッチ除去後24および48 hrにおいて、全例で、惹起部位で紅斑、浮腫等の皮膚反応は認められず。	(-)
光毒性試験	モルモット、2% 被験液、UV-Aランプ（315～400 nm、 $\lambda_{\max} = 352, 368 \text{ nm}$ ）、 $10 \text{ J/cm}^2$	投与部位で光照射後24、48および72 hrにおいて、光照射の有無に係わらず、全例で、紅斑、浮腫等の皮膚反応は認めず。	(-)
光感作性試験	モルモット、Adjuvant&Strip法、感作後、UV-Aランプ（315～400 nm、 $\lambda_{\max} = 352, 368 \text{ nm}$ ）、 $10 \text{ J/cm}^2$ 照射、惹起	惹起部位では、光照射の有無に係わらず、全例で、紅斑、浮腫等の皮膚反応は認められず。	(-)
復帰突然変異試験	Ames 試験、 <i>Salmonella typhimurium</i> His 要求性株、 <i>E. coli</i> Trp 要求性株の復帰突然変異、最高用量 $5,000 \mu\text{g}/\text{plate}$	代謝活性化非存在下、存在下に関わらず、すべて陰性	(-)
染色体異常試験	ラット肝臓S9細胞、腹腔内投与、最高用量 $3,300 \mu\text{g/mL}$	細胞増殖抑制試験 陰性 染色体異常試験 陰性	(-)